

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	田口 純
所属機関名	獣医学部 獣医学科
職位	教授
在籍年	8 年

教育の責任

獣医学部獣医学科において、2024 年度から導入された新カリキュラムの英語科目を一貫して担当しています。具体的には、1 年次「読解英語 1・2」「発表英語」、2 年次「文化英語」「メディア英語」、3 年次「学術英語」の主担当として教育責任を担っています。元県立高等学校教諭としての経験を背景に、BYOD 環境をフル活用し、基礎的な英語力から獣医学の専門領域で通用する高度な発信型英語力への円滑な橋渡しを実践しています。

教育の理念

学生を単なる「情報の受容者」から、最新技術を使いこなし論理的に思考・発信する「主体的な表現者」へと成長させることを目指しています。

- ・ **自律的学習者の育成**： AI や ICT ツールを「高度な文房具」として活用し、自らの弱点を把握し、主体的に学びをデザインできる「自己管理能力」を養います。
- ・ **Human-in-the-loop の徹底**： AI の出力を鵜呑みにせず、自らの知性で検証・修正するプロセスを通じ、クリティカル・シンキング（批判的思考）と責任ある情報活用能力を育てます。
- ・ **対話的知性と人間性の涵養**： 英語を通じ、異文化や普遍的な問い（命、家族、倫理等）を考察することで、多様性を尊重し他者と協働・共生できる豊かな知性を養いたいと考えています。

教育の方法・方針

独自の経験と最新技術を融合させ、学生が「自ら手を動かす」演習形式を中心に実践しています。

- ・ **4 ツール・ループの身体化**： 「UGUIS.AI」「Google 翻訳」「Natural Reader」「NotebookLM」を統合的に使用。AI を活用した「聴く・読む・解く・話す」のサイクルを身体化させます。
- ・ **AI 協働プロセスの可視化**： AI との対話や修正過程を記録・評価する手法を導入し、結果だけでなく「思考の過程」を重視した指導を行っています。
- ・ **高大接続を意識した精読と演習**： 高校での指導経験に基づき、正確な文構造の理解（精読）を土台にしたステップアップ指導を行い、発信力の基盤を築きます。
- ・ **個別最適化された支援**： Google Classroom を通じた詳細なフィードバックと、VELC Test 等の客観的データに基づく目標設定支援を継続しています。

教育の成果

VELC Test の活用や詳細なフィードバックを通じ、学生が自身の英語力の現状を客観的な数値で把握し、自律的に学習に取り組む姿勢が定着しています。また、精読の徹底により英文の論理構成を正確に捉えられるようになり、単なる和訳にとどまらない「内容の要約」や「英語による論理的な意見発信」へと能力が高まっています。グループワークや相互評価の場面では、他者の意見を理解・尊重しながら客観的に分析する「対話的知性」の芽生えが確認できています。

今後の目標

- ・ **プロンプトエンジニアリングの定着**： AI への適切な問いかけを通じて深い学びを引き出す技術を、全学年の担当科目を通じて習得させます。
- ・ **獣医学専門領域への昇華**： 3 年次の「学術英語」を核として、専門学習に直結する英語論文の読解や、国際的な獣医事現場で通用する実践的な発信力を強化します。

・自己肯定感を高める教室文化： 相互評価や協働学習を通じ、間違いを恐れず挑戦し、他者と高め合える「学びの共同体」をより強固なものにします。

根拠資料

シラバス (担当全科目)、各科目で実施した小テスト、宿題・レポート課題、試験問題、教材 (配布プリント、パワーポイント資料)、振り返りシート (ミニッツペーパー)、授業アンケート結果、VELC Test 成績データ。